



「楽しむ」

校長

3年ぶりに行動制限のない夏休みを終え、子どもたちが学校に戻ってきました。一人一人の表情からは、楽しく夏休みを過ごすことができた満足感と夏休みが終わった寂しさ、あわせて学校が始まった嬉しさも感じられました。

休み時間に楽しそうにグラウンドを走り回っている子どもたちを見ていて、ふと「子どもたちは、学校や家庭でどのようなことを楽しいと感じているのだろうか?」と思い、6年生に聞いてみました。

楽しいこと ベスト3

6年生・115名 無記名アンケート調査 複数回答 ()内~人

場 所	1 位	2 位	3 位
学 校	友達と (72)	勉強・授業 (46)	休み時間 (37)
家	ゲーム (64)	家族と (42)	TV・YouTube (37)
そ の 他	塾・習い事 (45)	外出・買い物 (40)	友達と (35)

学校では、友達と（遊ぶ、話す、勉強する）が第1位でした。勉強・授業が第2位で私としてはほっとしました。給食もランクインするだろうと予想していたのですが、3人という結果で思ったより少ない人数でした。

家では、ゲームが第1位、家族と（おしゃべり、ゆったり、食事）が第2位でした。少数派では、一人になる（2人）があり、なるほど…と思いました。（※学校では、一人になることが意外と難しいかもしれません。）

学校・家以外では、塾・習い事が第1位でした。

この結果から、ゲームもオンラインで友達と、塾や習い事でも友達と一緒に、という回答もあり、6年生にとって**“友達”**が大きな存在になっていることが分かりました。また、どれも強制されていることではないということも分かります。誰でも強制されることは楽しくありませんから。ということは、学校での第2位「勉強・授業」も自ら進んで…ということになりますか。

脳科学では、**脳は楽しんでいるときに最も活性化**されるそうです。「脳にいいから」と修業のように取り組んだり、苦手なことをイヤイヤやったりすると、かえって脳にストレスを与えてしまうということです。

また、楽しさの中にも**自分に合う楽しさ**と**自分には合わない楽しさ**があるらしいです。みんなが楽しいと感じているからという理由で何かをやっても、自分には合わないということもあります。今の自分が楽しいと感じるもの、逆に楽しくないと感じるもの、あるいはまだ経験のない未知のものもあるかもしれません。

これからも“楽しい”と子どもたちが感じられるような授業はもちろん、行事、教育活動を中央小教職員が一丸となり目指して参りますので、よろしく願いいたします。

前期再開、多くの行事を実施

9月1日（木）から、前期再開となりました。コロナ禍による感染防止対策を徹底しながら、子どもたちの教育活動を実施しています。



9月1日 全校集会
大型テレビを活用して、映像と共に話を伝えました。



9月1日 避難訓練



9月2日～ 全校和楽器体験
和楽器の箏に触れ、演奏を楽しんでいました。



9月5日 クラブ活動
3年生が見学をしました。



9月6日 1年生活科
秋の虫取りに夢中でした。



9月9日～ 5年福祉体験

通学路点検について

ご家庭から、通学路の危険箇所について、たくさんのご指摘をいただきました。夏休みに点検を行い、改善してほしい点について、各関係機関に要望を出しました。

タブレット活用について

夏休み中のタブレット端末の持ち帰りについて、ご協力ありがとうございました。

9月からは、月1回ほど持ち帰り、タブレットを活用した家庭学習を行います。引き続きご協力をお願いします。使用できる時間は、午前6時～午後10時まで（市内統一）です。

「安心・安全」な学校施設に

子どもたちが安全・安心な学校生活を送れるよう、本校では、夏休み中に多くの工事を行い、終了しています。

例えば、①図書室前のスロープ、②体育館への通路マット、③グラウンドの高鉄棒があります。さらに、特別教室3部屋にエアコンを、2階トイレ出入口には、のれんを取り付けました。

今後も、子どもたちのために、学校環境を整えていきますので、よろしくお願いします。



ホームページでは、学校だよりをカラーで御覧いただけます。

<http://www.edu.city.asahi.chiba.jp/es-asahichuou/ichiran/index.html>